

**SSCSインターンシップ奨励プログラム
応募用紙
第6期(2008年度)**

記入日 2008年 月 日

氏名 (ふりがな)	
現住所	〒
電話・FAX	電話： FAX：
携帯電話	
電子メール (PC) 携帯メール	電子メール： 携帯メール： <small>(メールで連絡を差し上げることがあります。連絡が付きやすい方があれば、その旨お書きください)</small>
学んでいる場の名称 (大学・大学院・その他)	
学部・学科・専攻	
学 年	
年 齢	歳 (年 月 日生)
性 別	
これまでのインターン シップの経験と活動先	活動経験 有 無 (該当するものに○をつけてください) (活動先名をできるだけ具体的にお書きください)
部活/サークル活動 特技・資格・免許など	

受け入れを希望する団体名： 特定非営利活動法人 _____

希望活動期間： 2008年6月10日～2009年__月__日 (活動期間は2008年6月10日～2009年6月9日となっていますが、卒業等のため、2009年3月9日で修了も可能です。ご希望をお書きください。)

上記団体で受け入れを希望する理由・連絡事項 (活動時間などについてなど、希望などがあれば、自由にお書きください。活動開始日は6月11日以降でも結構です。)

今プログラムをどのように知りましたか (今後の広報の際に参考とさせていただきます)

受付番号 2008-

〔提出書類〕 (応募用紙・小論文) :

<<提出締切 : 5月13日(火) (必着) >>

応募用紙とともに、別紙に、「NPOへの私の関心」または「インターンとして私が体験したいこと」のどちらかのテーマを選び、2000字程度の小論文(氏名を明記のこと)を書いてご提出ください。

*応募用紙の記載欄が足りない場合には、別紙をお付けください。

*小論文はできるだけワープロなどで作成してください。手書きの場合は楷書でお書きください。

応募されるみなさんへ

〔重要な連絡〕 — 応募書類の扱いについて —

お送りいただいた応募書類(応募用紙と小論文)・原本とその写しは、応募者選考のため、SSCSプログラム事務局(市民社会創造ファンド)担当者、受け入れを希望する団体のインターン受け入れ担当者・関係者ならびに面接者が拝見させていただきます。

選考の結果、インターンとなられた場合には、応募書類・原本とその写しは、インターンとの連絡や指導のため、SSCSプログラム事務局と受け入れ団体で保管し、使用させていただきます。また、SSCSプログラム運営委員会委員(市民社会創造ファンドが毎年委嘱)も、プログラムの検討のため、任期中は拝見させていただく場合があります。本プログラム提唱者の石原静子氏も、プログラムの展開の理解・確認のため、保管し、使用させていただきます。

また、選考の結果、インターンとなられなかった方の応募書類・原本については、応募者本人に返送させていただきます。また、すべての応募書類の写しについては、市民社会創造ファンドで破棄させていただきます。ただし、応募者が受け入れを希望した団体名、大学名、学部・学科・専攻、年齢、性別、プログラムをどのように知ったかについては、プログラムの改訂作業や広報の方法の検討などのため、市民社会創造ファンドでデータ化し保管させていただきます。■

— 個人情報保護の観点から、お伝えさせていただきます。 —

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド